

再発非小細胞肺癌(非扁平上皮がん)

ニボルマブ+イピリムマブ+シスプラチン+ペメトレキセド併用療法

※導入療法1コース(導入・維持療法併せて最長24か月)

6週毎

薬剤・略号	商品名	投与量	投与日
ニボルマブ	オブジーボ	360mg/body	d1、22
イピリムマブ	ヤーボイ	1mg/kg	d1
ペメトレキセド	アリムタ	500mg/m ²	d1、22
シスプラチン	シスプラチン	75mg/m ²	d1、22

q3w
q6w

投与7日 以上前～	メチコパール注(500μg) 1A im パンビタン末 1g 1日1回内服
--------------	--

d1, d22	イメンドカプセル(125) 1カプセル CDDP投与1時間～1時間30分前に内服
---------	--

d2-3	イメンドカプセル(80) 1カプセル 朝食後内服
d23-24	

d2-5 d23-26	デカドロン錠(4mg) 2錠 朝食後内服(必要に応じて使用)
----------------	--------------------------------

Day1	<p>① メコバラミン注(500μg) 1A im ※</p> <p>② 生理食塩液 100ml / ルートキープ</p> <p>③ アロキシ(0.75mg) 1V + デキサート(6.6mg/2ml) 1.5V + 生理食塩液 50ml / 15min</p> <p>Y ④ <u>ニボルマブ360mg/body + 生食50ml 30分でDiv</u> 0.2または0.22μmのインラインフィルター付ルートを使用</p> <p>⑤ 生食 100ml / 30分 (フラッシュ用)</p> <p>Y ⑥ <u>イピリムマブ()mg/body + 生食20ml 30分でDiv</u> 0.2又は0.22μmのインラインフィルター付ルートを使用 ニボルマブ投与終了後、30分以上あけて、投与を開始すること 生食又は5%糖液を用いて、1～4mg/mlの濃度に希釈すること 1～4mg/ml確保のため、生食50ml→生食20mlにして使用</p> <p>⑦ 生食 100ml /フラッシュ用</p> <p>Y ⑧ <u>ペメトレキセド()mg/body + 生食100ml/10min</u></p> <p>⑨ 生食 100ml /30min</p> <p>⑩ ソルデム3A 500ml + 硫酸Mg補正液(20mEq/20ml) 1A / 60min</p> <p>⑪ 生食 500ml / 60min</p> <p>⑫ マンニトール 300ml / 30min</p> <p>Y ⑬ <u>シスプラチン()mg/body + 生食300ml / 120min</u></p> <p>⑭ ソルデム3A 500ml / 60min</p>
------	---

Day22	<ul style="list-style-type: none"> ① メコバラミン注(500 μg) 1A im ※ ② 生理食塩液 100ml / ルートキープ ③ アロキシ(0.75mg) 1V + デキサート(6.6mg/2ml) 1.5V + 生理食塩液 50ml / 15min Y④ ニボルマブ360mg/body + 生食50ml 30分でDiv 0.2または0.22 μmのインラインフィルター付ルートを使用 ⑤ 生食 100ml /フラッシュ用 Y⑥ ペトレキセド()mg/body + 生食100ml/10min ⑦ 生食 100ml /30min ⑧ ソルデム3A 500ml + 硫酸Mg補正液(20mEq/20ml) 1A / 60min ⑨ 生食 500ml / 60min ⑩ マンニトール 300ml / 30min Y⑪ シスプラチン()mg/body + 生食300ml / 120min ⑫ ソルデム3A 500ml / 60min
-------	---

※ 添付文書に記載されているVB12製剤の使用方法は、「初回投与少なくとも7日前に1mgを投与し、その後9週(3コース)毎に投与終了後22日目まで投与」となっているが、投与忘れがないよう、当院ではメトレキセド(アリムタ)投与ごとにVB12 500 μ gをレジメンに登録している。